2023（令和５）年度事業計画

１．地域における活動の活性化

（１）地域団体運営支援のためのシステム作り

（２）各地域において、体験・交流等のサロンや、定例会等、定期的に視覚

障害者が集える場の設置推進支援

（３）各地域における支援者の育成

２.「独りぼっちの視覚障害者をなくそう」の理念を実現するための本会づくり

（１）身体障害者手帳は所持しているが、制度利用や他の視覚障害者との交流に結びついていない人への働きかけの一層の検討

（２）府立盲学校や視力障害者福祉センター・ライトハウス鳥居寮等、他の　　　　　　　　　　　　　　　視覚障害関係施設利用者等への入会促進の取り組み

（３）「会員であって良かった」と思えるような事業の企画・開催

３．将来を見据えた本会の運営

（１）役員の世代交代に向けた取り組み

（２）視覚障害者福祉向上に向けて、役職員が一丸となった本会運営が進　められる体制づくり

（３）定期的な年度事業計画の進捗状況の確認と、必要な見直しの実施

（４）将来の本会運営のための、三カ年計画の策定

（５）結成７５周年記念誌の発行

（６）部局間における情報共有と連携の強化

４．制度拡充とそれぞれの自己実現を目指して

（１）同行援護事業利用者のニーズ把握と利用しやすい制度拡充

（２）情報・コミュニケーション支援の拡充

（３）雇用・就労対策の推進

５．視覚障害の正しい理解と普及に向けた広範な府・市民への広報活動の充　　　　　実

（１）音訳・点訳、情報支援機器等、視覚障害者支援ボランティア及び　　ガイドヘルパー等支援者の養成

（２）視覚障害について市民の理解を広める活動の積極的な促進

６．「財政健全化計画」の立案と継続実施